

エフセキュア調査： 中小中堅企業(SMB)のソフトウェア・アップデートの実態

標的型攻撃などを防ぐため、OS やアプリケーションの脆弱性を塞ぐパッチ適用（ソフトウェア・アップデート）は、企業規模を問わず喫緊の課題となっています。それでは中小中堅企業(SMB)では、どこまでソフトウェア・アップデートに対応できているのでしょうか？※

社用 PC への私用ソフトウェアのインストール

社内ネットワークへ直接接続される社用の PC へ私用のソフトウェアをインストールする行為は、大きなセキュリティ・ホールとなる危険性があります。ところが、こうした行為を認めている企業はおよそ半数の 46%に達していることが判明しました。これは従業員規模が小さい企業ほど顕著な傾向となっており、従業員規模が 1~49 名の企業では 56%、50~249 名で 46%、250~500 名の企業の 39%が私用ソフトウェアのインストールを認めています。

ソフトウェア・アップデートの方法

社用の PC へ私用のソフトウェアのインストールを認めている企業では、ソフトウェアのアップデートを従業員に任せている率が 67%に達しています。また Microsoft Update を実施しているものの、アプリケーションのパッチ管理は行っていない企業は 30%に上ります。なんらかのツールを使用してソフトウェア・アップデートを実施している企業は 2%に過ぎません。

ソフトウェア・アップデートの重要性

ソフトウェア・アップデートの重要性については、77%の企業が「極めて重要、たいへん重要」、さらに 17%が「重要」と回答しており、十分に認識されています。一方、ソフトウェア・アップデートに費やしている時間は週当たり平均 11 時間で、中小中堅企業(SMB)にとって大きな負担となっています。ソフトウェア・アップデートの負担を軽減しつつ、タイムリーに適用してセキュリティを確保するための、適切なツールが求められていると考えられます。

※エフセキュアの 2014 年デジタル企業調査は、8 カ国（ドイツ、イタリア、フランス、英国、スウェーデン、フィンランド、ポーランド、アメリカ合衆国）で 1~500 名の従業員（平均 200 名）を有する企業を対象に Web インタビューを実施しました。同調査は 2013 年 11 月に実施されました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュア — かけがえのないものを守る

エフセキュアは、お客様が重要なアクティビティに専念できるよう、コンピュータでもスマートフォンでも、オンラインでの保護と安全をお約束します。また、バックアップを提供するとともに、重要なファイルの共有も可能にします。エフセキュアのサービスは、200以上の通信事業者を通じて世界で提供されており、数百万のホームユーザ、ビジネスユーザから信頼を受けています。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>